

株式会社gumi

ファイナンス補足説明資料

2022年12月

The logo for gumi, featuring the word "gumi" in a bold, lowercase, sans-serif font. A red checkmark-like symbol is positioned to the left of the letter "i".

目次

■ 当社グループについて	3
■ 資本提携について	10
■ 業務提携について	15

目次

■ 当社グループについて	3
■ 資本提携について	10
■ 業務提携について	15

会社概要

会社名	株式会社gumi
本社所在地	東京都新宿区西新宿
設立年月日	2007年6月
代表取締役	川本 寛之
従業員数	789人（連結）2022年10月末時点
株式市場	東証プライム市場
連結子会社	19社（以下主要子会社） 株式会社グラムス、株式会社エイリム gumi Asia Pte.Ltd 株式会社gumi Cryptos 株式会社gumi X Reality gumi America,Inc.

ミッション

Wow the World! ～すべての人々に感動を～

当社は現在の収益の主軸であるモバイルオンラインゲーム事業に加え、将来の収益基盤を構築すべくメタバース事業にも早期より参入のうえ、積極的な取り組みを実施

モバイルオンラインゲーム事業



ファンキル



タガタメ



クリユニ



FFBE
(※1)



FFBE
幻影戦争
(※2)



ラグナド



乃木フラ

メタバース事業



コンテンツ開発

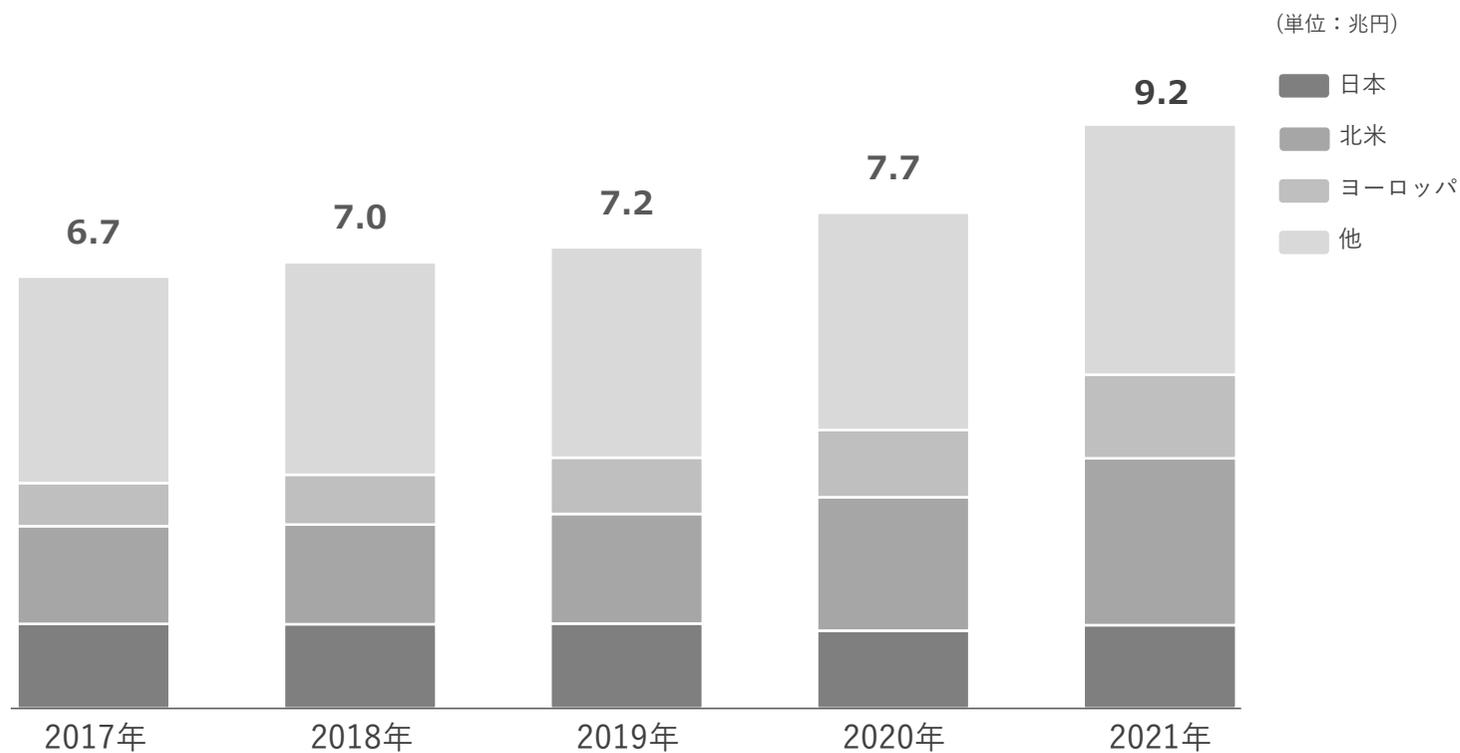
ファンド投資

ノード運営

XR

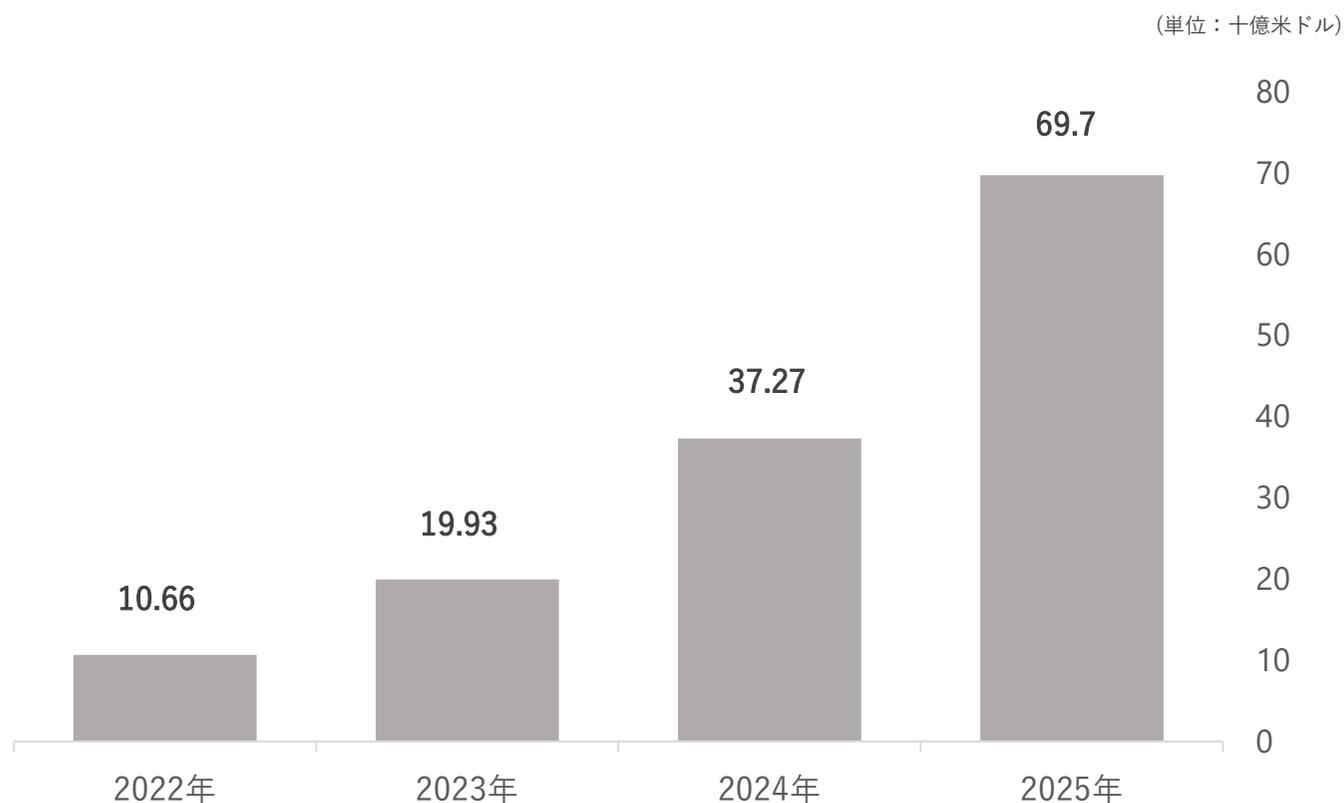
モバイルオンラインゲーム市場が成熟傾向の中、開発コストも更に増大し、市場はより寡占化

世界モバイルオンラインゲーム市場の推移



ブロックチェーン市場が大きく勃興する中、暗号資産市場の不安定さは残るものの、ブロックチェーンを利用した技術進化は加速度的に急成長

世界ブロックチェーンテクノロジー市場の推移



モバイル オンライン ゲーム事業

現状

- ・ 既存タイトルは、原則全タイトルを黒字にて運営
- ・ 自社保有のゲームエンジンの横展開や、安定収益となる開発受託を推進し安定的に収益を創出できる体制を構築済

課題

- ・ 成熟した市況の中で、有力なIPホルダーやパブリッシャーとの協業等を通じ、ヒット確度の高いタイトルを厳選し提供していくことが必要

メタバース 事業

現状

- ・ ファンド投資やノード運営を通じ、足元の収益を創出しつつ有力企業とのネットワークを構築済
- ・ 自社の開発力、長期運用力を存分に活用した高品質なブロックチェーンゲームを早期に市場投入すべく開発に注力

課題

- ・ ブロックチェーンゲーム市場にはまだ明確な勝ちパターンがない状況
- ・ 圧倒的な優位性を築くには、ブロックチェーンに親和性の高い金融的知見を有する有力企業との戦略的提携による最適なエコシステムの形成、有力なIP・コンテンツ開発力を有する有力企業との事業連携によるキラーコンテンツの早期創出が必要不可欠

これらの課題を解決し、中長期的な事業価値の向上を図っていくという観点から、SBIグループ及びスクウェア・エニックスとの戦略的資本業務提携を決定
両事業における競争力の更なる強化を図りつつ、企業価値の更なる向上を図る



挑戦と進化を続ける
リーディングカンパニー

当社のゲーム開発ノウハウと、SBIグループの金融機能並びにWeb3.0領域におけるネットワーク及びノウハウとを融合させることで、新たなユーザー体験を提供するコンテンツを創出していく

創造的かつ革新的なコンテンツを生み続ける
リーディングカンパニー

当社のゲーム開発ノウハウと、有力なIP・コンテンツ開発力を有するスクウェア・エニックス・グループのノウハウを融合させることで、新たなユーザー体験を提供するコンテンツを全世界のユーザーに届ける

目次

■ 当社グループについて	3
■ 資本提携について	10
■ 業務提携について	15

当社は、本日12月22日付の取締役会において、SBIホールディングス株式会社及び株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスとの間でそれぞれ資本業務提携を行うこと、割当予定先に対し第三者割当により新株式を発行すること、及び当社が保有している自己株式を消却することを決定

募集の概要

1. 発行決議日	2022年12月22日	
2. 払込期日	2023年1月11日	
3. 発行新株式数	普通株式9,980,000株	
4. 発行価格	1株につき708円	
5. 資金調達額	約70億円	
6. 割当予定先	SBIホールディングス株式会社	8,800,000株
	スクウェア・エニックス・ホールディングス株式会社	1,180,000株

自己株式の消却

1. 消却株式数	2,101,066株
----------	------------

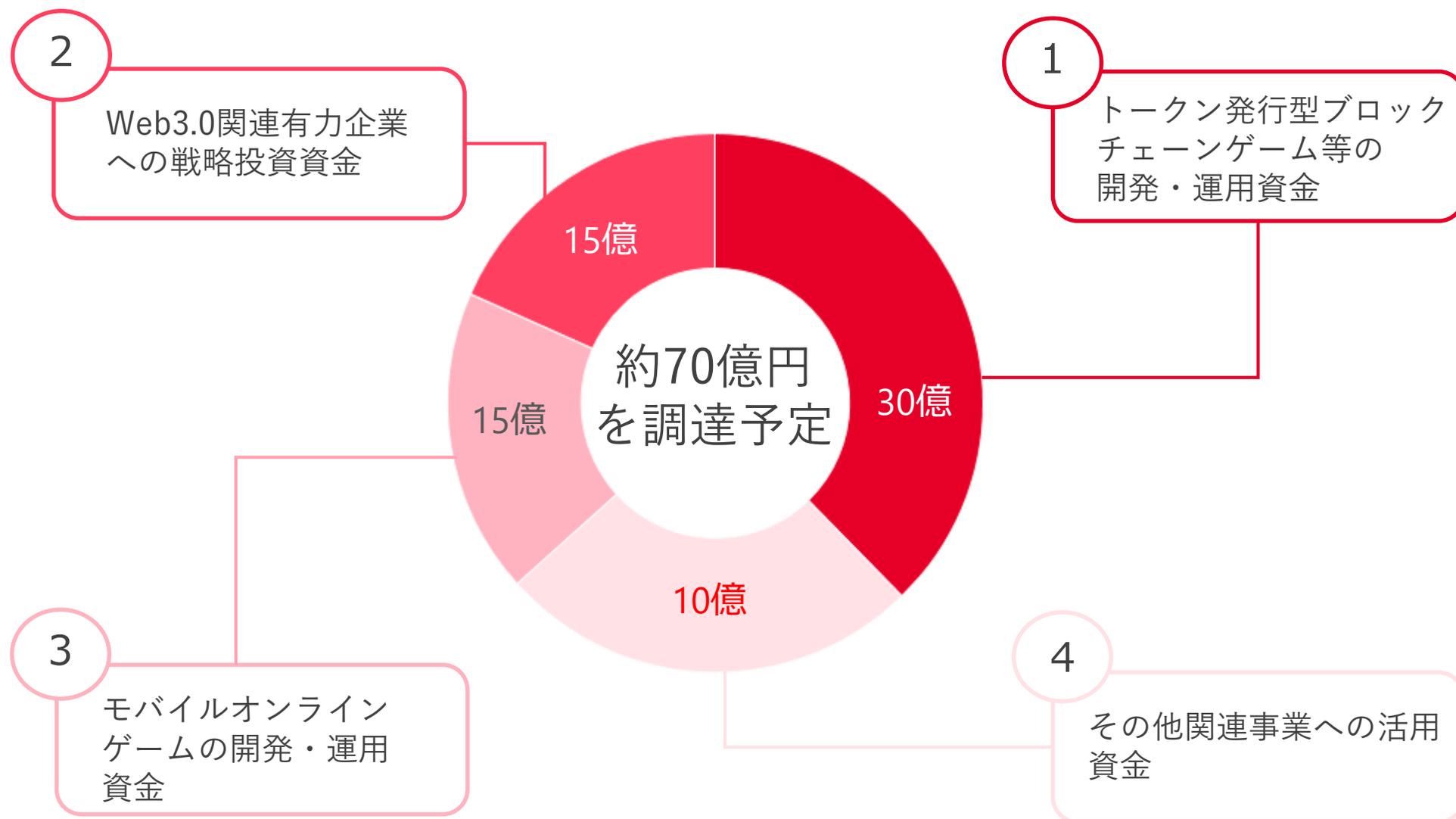
SBIホールディングス株式会社

名称	SBIホールディングス株式会社
所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 北尾 吉孝
事業内容	株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等
資本金	139,181百万円
設立年月日	1999年7月8日
発行済株式数	272,264,990株(自己株式を含む)

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

名称	株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
所在地	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松田 洋祐
事業内容	株式等を所有することを通じた企業グループの経営管理等
資本金	24,039百万円
設立年月日	1975年9月
発行済株式数	122,531,596株

ブロックチェーン領域への活用を主としつつ、現在の収益の主軸であるモバイルオンラインゲーム領域にも経営資源を投下



1

ブロックチェーンゲーム等の開発/運用

ゲーム内で発行されるトークンの上場に加え、ブロックチェーンゲーム専用のプラットフォームの構築検討等

2

Web3.0関連有力企業への戦略投資

暗号資産やNFTとの親和性が高い様々な事業領域に対し戦略投資を実行

3

モバイルオンラインゲームの開発/運用

高品質なオリジナルタイトルや他社有力IPを活用したタイトルを年間1～2本程度安定的に供給

4

その他関連事業への活用

ゲーム配信権獲得、各種ライセンス取得、ノード事業拡充に向けたトークン取得等、様々な使途にて活用を想定

目次

■ 当社グループについて	3
■ 資本提携について	10
■ 業務提携について	15

SBIグループとの業務提携の内容

1. ブロックチェーン関連コンテンツの開発・運用・販売における提携
2. Web3.0領域のネットワークの相互活用による提携
3. 金融商品開発・販売における提携
4. Web3.0領域を取り巻く事業環境の整備推進に向けた提携

スクウェア・エニックスとの業務提携の内容

1. モバイルオンラインゲーム及びブロックチェーンゲームの開発・配信に係る提携
2. ブロックチェーンゲーム専用プラットフォームの設立検討に向けた提携
3. Web3.0領域のネットワークの相互活用による提携

■ ブロックチェーン関連コンテンツの開発・運用・販売における提携

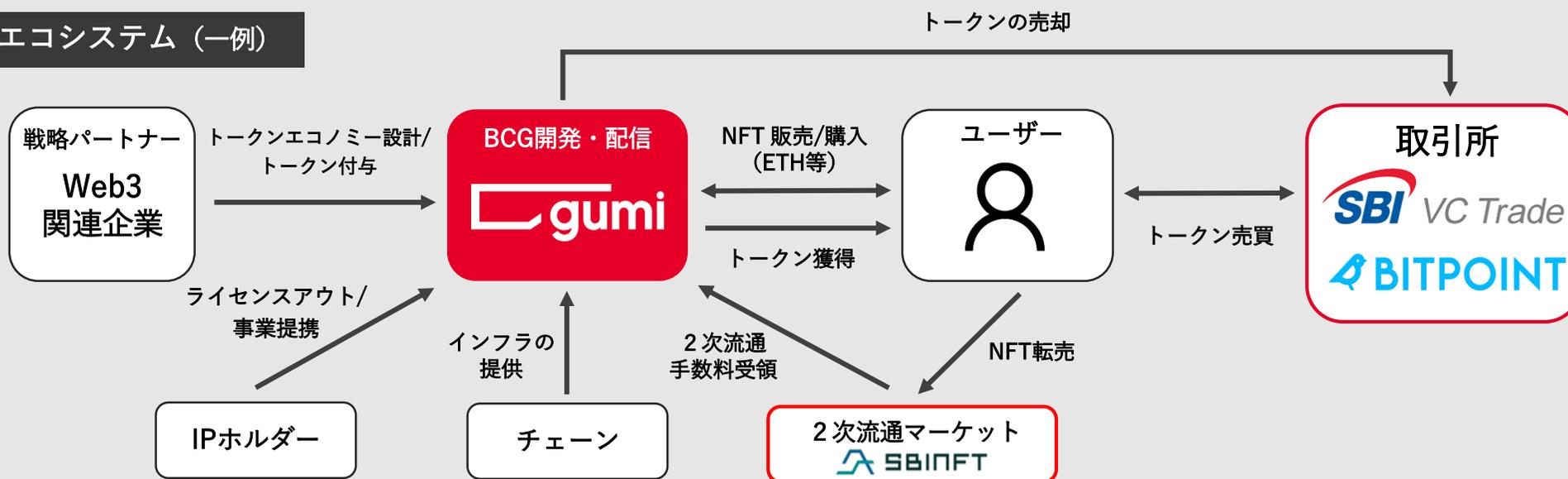
目的

- ・ トークン発行型ブロックチェーンゲーム等のエコシステム形成

解決すべき課題

- ・ マスアダプションに向けたシームレスなエコシステムの確立
- ・ ブロックチェーンゲームにおけるトークン価格の安定性確保

BCGエコシステム (一例)



Web3.0領域のネットワークの相互活用による提携

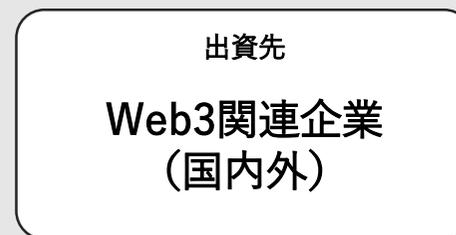
目的

- 投資やノード運営事業等の拡大

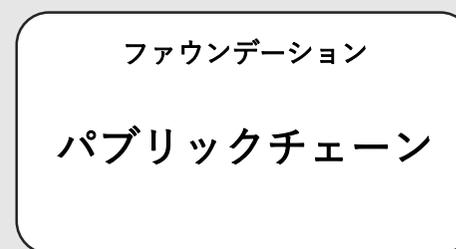
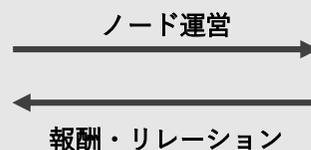
解決すべき課題

- コンテンツのみに依存しない収益の獲得
- ネットワーク拡大による新たな事業創造や知見の獲得

投資



ノード運営



トークン上場



金融商品開発・販売における提携

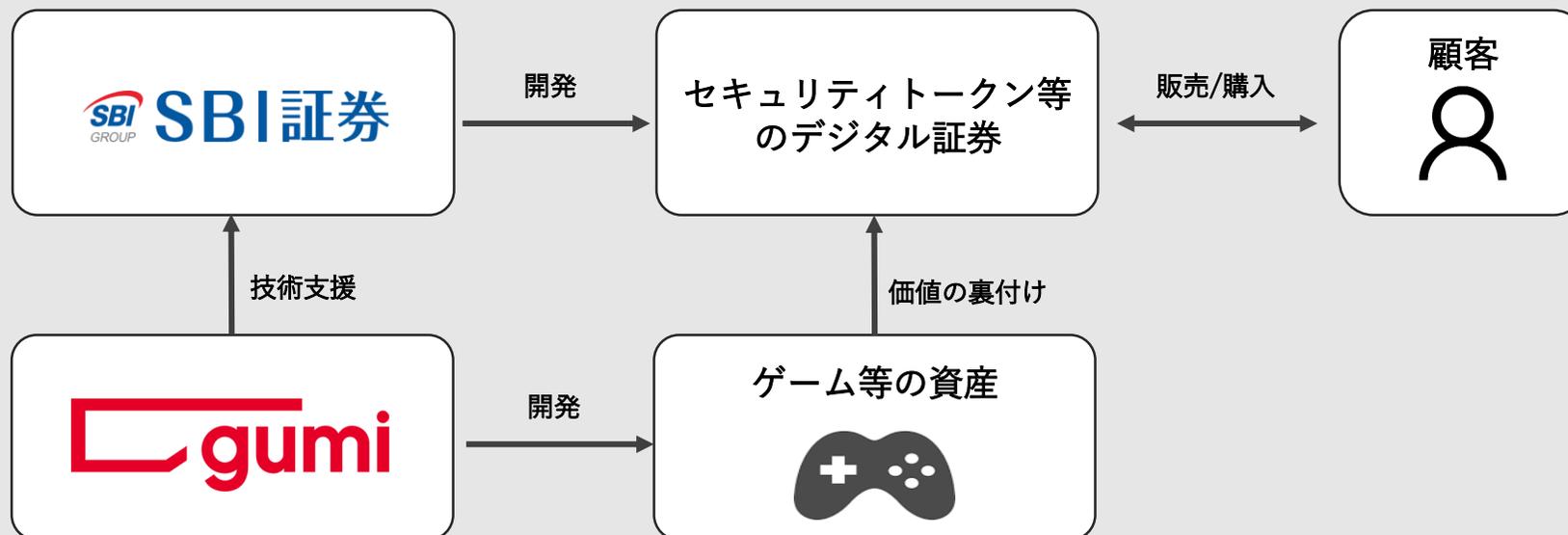
目的

- 新たな商品、サービスの提供による顧客基盤拡充
- 資金調達手段の多様化

解決すべき課題

- 自社が有する資産の周辺領域への展開
- プロジェクト開発の資金手当て

金融商品開発



Web3.0領域を取り巻く事業環境の整備推進に向けた提携

目的

- 事業構想の実現

解決すべき課題

- 必要な制度改正の円滑な実現
- 一般消費者への認知拡大

事業環境の整備推進



モバイルオンラインゲーム及びブロックチェーンゲームの開発・配信に係る提携

目的

- クオリティの高いゲーム（キラーコンテンツ）の開発及び早期のグローバル展開の実現

解決すべき課題

- 成熟期にあるモバイルオンラインゲーム市場と、導入期にあるブロックチェーンゲーム市場においては、競争優位性のあるコンテンツが必要

ゲーム開発

ゲーム開発力
長期運営力
海外展開ノウハウ

gumi

×

ゲームパブリッシュ力
IP・世界観

SQUARE ENIX



キラーコンテンツ
の創出

■ ブロックチェーンゲーム専用プラットフォームの設立検討に向けた提携

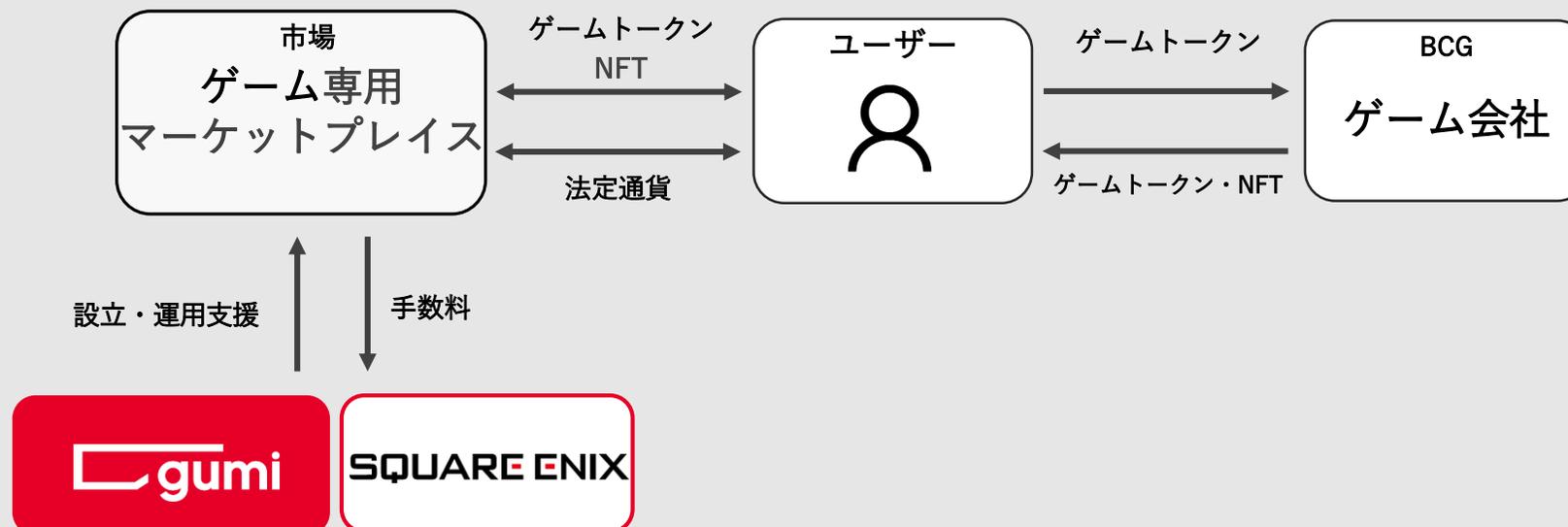
目的

- ブロックチェーンゲーム市場の更なる拡大

解決すべき課題

- マスアダプションに向けたプラットフォームの確立
- コンテンツのみに依存しない収益の獲得

PF構想



Web3.0領域のネットワークの相互活用による提携

目的

- 企業価値向上及び事業構想の実現

解決すべき課題

- コンテンツのみに依存しない収益の獲得
- ネットワーク拡大による新たな事業創造や知見の獲得



免責事項

本資料は、株式会社gumi（以下「当社」といいます。）並びにその子会社及び関連会社（以下、当社と併せて「当社グループ」と総称します。）の財務情報、経営情報等の提供を目的としたものです。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関わる情報及び当社グループ以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料に含まれる全ての情報は、予告なしに変更される場合があります。

本資料は、当社の有価証券の取得に係る投資勧誘を目的としたものではなく、当社の有価証券への投資判断にあたって必要な全ての情報が含まれているわけではありません。

Wow the World! **gumi**